



胴体は切断され、下半身は、血の海の地べたのなか、そのうえには、残された腸が無残にもぶら下がる。まわりには崩れた墓石、傍らの棺桶からは、顔面血だらけの別の人間が這い上がろうとしている。そして黒いこうもりが不気味に羽ばたき、蜘蛛の巣を揺らす。

ここはマニラから西へ車で2時間半のスービック、かつては大米軍基地所在地として世界に名をはせた場所でもある。

ここから、さらに西へ車で2時間半のマシンロック発電所（ザンバレス州）が当日の最終目的地である。中間地点のこの地で休憩をとったガソリンスタンド内広場での撮影である。

11月1日がオールセイントデー（All Saints Day, 万聖節）で、この日から当地では連休祭日となる。その前日の10月31日がハローウィン（Halloween）であり、おぞましい姿を誇示して楽しむ日である。この写真の飾りつけも、この日を盛り上げたためのものである。

この日、あちこちで行事やパーティが行われ、馬鹿になって騒ぐ。

この“馬鹿になって騒ぐ”というのがフィリピン人がフィリピン人たるところ。

この乗りについていければ、フィリピンでは楽しく過ごせるはずだ。

それにしても「気持ち悪い」飾りつけ。

夜は絶対に近寄るまい。